

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 MUTOHホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7999 URL <https://www.mutoh-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 磯邊 泰彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 福富 弘悦 TEL 03-6758-7100
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月15日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

百万円未満切り捨て

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	8,502	0.3	511	1.6	446	△6.8	262	△20.2
2023年3月期第2四半期	8,473	8.6	503	110.8	479	51.2	328	△55.8

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 674百万円 (△17.7%) 2023年3月期第2四半期 819百万円 (△13.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	57.47	—
2023年3月期第2四半期	72.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	28,222	22,835	78.0
2023年3月期	27,316	22,406	79.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 22,009百万円 2023年3月期 21,579百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2024年3月期	—	25.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	30.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,200	2.4	990	2.4	1,020	4.2	680	△22.6	149.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期2Q	5,054,818株	2023年3月期	5,054,818株
2024年3月期2Q	484,550株	2023年3月期	490,207株
2024年3月期2Q	4,567,276株	2023年3月期2Q	4,561,951株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
(4) 当期の配当について	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界の経済環境は、インフレの高止まり、各国の金融引き締め政策が継続しており、景気の減速傾向が強まっています。地域別に見ますと、米国においては、景気は、個人消費が下支えしているものの、金融環境の引き締めまりが、製造業を中心に企業部門の経済活動を下押しし、減速傾向が見られます。欧州においては、エネルギー価格の高騰による原材料価格の上昇や世界的な製造業の不調を受けて、輸出はコロナ前を下回る水準で減少傾向にあり、景気低迷と高インフレが続いています。中国においては、ゼロコロナ政策解除によるリバウンド需要の一巡に加え、不動産市場の悪化、輸出入は低迷し景気減速が続いています。一方、国内においては、リバウンド需要による個人消費の持続と円安進行によるインバウンド需要が好調に推移し、景気は緩やかな回復傾向にあるとみられていますが、各国の景気減速の影響により今後の経済活動の鈍化が懸念されています。

このような状況のなか、当社グループは、2022年8月に公表した中期経営計画の基本方針の下、持続的な増収を基調とした安定収益基盤の確立による通期営業損益の改善を最重要課題とした事業構造改革に取り組み、営業利益率目標を2年前倒しで達成いたしました。これをうけ、2023年8月に中期経営計画目標の再設定を行い、財務体質の強化と株主還元に取り組んでおります。

中核事業の情報画像関連機器事業では、収益性確保を伴う持続的成長に向け、純正サプライの継続収益に繋がる日米欧市場に軸足のシフトを進めるとともに、ソフトウェア・サービスでの付加価値提供による差別化・ビジネスモデル革新を進めてまいります。

大判インクジェットプリンタ製品においては、多様なメディアに対応し高生産性と高画質を実現した新型フラットベッドUV-LEDプリンタ『XpertJet 1462UF』を世界同時発売。従来のUVフラットベッドプリンタにない新たなサイズ展開で新市場を開拓します。8月に開催されたPRINTING United Alliance (米国印刷工業会) の主催する『2023 Pinnacle Product Award』において本機を含む4つの部門で受賞し、12年連続でMUTOH製品の優秀性と品質が高く評価されました。この10月からは、MUTOHプリンタを使用するユーザーと販売代理店へのサービス向上を目的とした新クラウドサービス『MUTOH Direct』の提供を開始いたしました。

MUTOHは、常にメイド・イン・ジャパンの高品質な製品の設計と製造、そして最高のサービスを誇りとしています。今後も技術革新に努め、技術の進歩をリードし、業界最高水準の品質を実現する製品を提供してまいります。

3Dプリンタにおいては、教育、産業用途向けの2機種『MF-2200S』『ML-300』のモデルチェンジを実施。さらに新製品としてエントリーモデルながらカーボン繊維入りフィラメントを使用できる『MF-900』を市場投入し、個人から企業まで幅広いニーズに対応し国内3Dプリンタのリーディングカンパニーとして新たな市場の開拓を進めてまいります。

設計計測機器事業においては、3Dプリンタ製品との連携により、CADから3D出力までのトータルサービスを提供する「教育機関向けMUTOHパッケージ」として商品化し、国内におけるデジタル化教育のニーズに応えるソリューションとして販売展開しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、堅調に推移し85億2百万円（前年同期比0.3%増）となりました。

営業利益は、継続した原価率改善の取り組み、原材料価格の高騰の一部を製品価格に転嫁する等により5億11百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

経常利益は、営業利益に受取利息や持分法による投資利益などの営業外収益と為替差損など営業外費用の計上により4億46百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、課税所得の増加による法人税等の増加により2億62百万円（前年同期比20.2%減）となりました。なお、当第2四半期連結累計期間の平均為替レートは、1ドル141.06円（前年同期比5.2%の円安）、1ユーロ153.44円（前年同期比10.6%の円安）に推移しました。

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりであります。

〔情報画像関連機器（アジア・北アメリカ・ヨーロッパ）〕

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高64億72百万円（前年同期比1.9%減）、セグメント利益2億66百万円（前年同期比5.3%減）となり、前年同期に対して減収減益になりました。

地域別には、アジア地域は売上高18億2百万円（前年同期比6.7%減）、セグメント利益2億89百万円（前年同期比66.5%増）、北アメリカ地域は売上高20億5百万円（前年同期比0.7%増）、セグメント損失19百万円（前年同期は80百万円の利益）、ヨーロッパ地域は売上高26億64百万円（前年同期比0.3%減）、セグメント損失3百万円（前年同期は27百万円の利益）となりました。

〔情報サービス〕

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高12億40百万円（前年同期比11.4%増）、セグメント利益1億65百万円（前年同期比13.9%増）となり、収益性の改善により前年同期に対して増収増益となりました。

〔設計計測機器〕

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高5億45百万円（前年同期比0.1%増）、セグメント利益64百万円（前年同期比21.5%増）となり、需要の減少と原材料価格の高騰を値上げでカバーし、前年同期に対して増益となりました。

〔不動産賃貸〕

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1億41百万円（前年同期比29.0%増）、セグメント利益16百万円（前年同期比81.2%減）となり、新たな賃貸不動産の取得と、取得に掛る一時費用の計上により、前年同期に対して増収減益となりました。

〔その他〕

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1億2百万円（前年同期比5.8%減）、セグメント損失7百万円（前年同期は11百万円の損失）となり、前年同期に対して減収となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における資産は282億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億6百万円の増加となりました。

流動資産は179億61百万円となり、1億93百万円の増加となりました。その主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産の増加2億51百万円、棚卸資産の増加4億44百万円、現金及び預金の減少2億45百万円、その他の流動資産の減少2億34百万円、貸倒引当金の増加△22百万円等であります。

固定資産は102億61百万円となり、7億13百万円の増加となりました。その主な要因は、建物及び構築物の増加5億85百万円、土地の増加14億75百万円、繰延税金資産の増加28百万円、投資有価証券の減少13億60百万円等であります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債は53億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億77百万円の増加となりました。

流動負債は40億89百万円となり、4億97百万円の増加となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加87百万円、電子記録債務の増加1億33百万円、未払法人税等の増加1億48百万円、その他の流動負債の増加1億74百万円、未払金の減少28百万円、賞与引当金の減少15百万円等であります。

固定負債は12億97百万円となり、20百万円の減少となりました。その主な要因は、繰延税金負債の増加7百万円、その他の固定負債の減少26百万円等であります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は228億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億29百万円の増加となりました。その主な要因は、配当金の支払い2億5百万円と親会社株主に帰属する四半期純利益2億62百万円の計上による利益剰余金の増加57百万円、自己株式の減少15百万円、為替換算調整勘定の増加3億60百万円、退職給付に係る調整累計額の増加14百万円、その他有価証券評価差額金の減少12百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く経営環境は、ウクライナ情勢その他の地政学的リスク、原材料価格の値上がりが続く一方、インフレ進行に伴う各国の金融引き締め政策による景気後退が懸念されております。このような状況のなか、当社グループは、持続的な増収を基調とした安定収益基盤の確立による通期営業損益の改善を最重要課題として事業構造改革に取り組んでおります。

2024年3月期は、従来に引き続き日米欧を中心とした販売施策と原価低減活動に継続的に取り組むとともに、原材料価格高騰に対する価格転嫁の拡大を実施し、また、業界初となるプリントサイズの新UVフラットベッドプリンタや業界最先端レベルの人体安全性を誇る新インク等の高付加価値新製品を下半期に市場投入することで、増収増益を目指します。

なお、現時点において、5月12日に公表の2024年3月期の連結業績予想に変更はありません。

(4) 当期の配当について

景気の動向および経済環境や市場から注目される諸指標等にも目を配りながら、今回、株主の皆様のご支援にお応えするため、本日開催の取締役会において、中間配当につきまして5月12日に公表いたしました配当予想通り、一株当たり25円00銭の中間配当を実施することを決議いたしました。なお、期末配当の30円00銭の予想につきましては、現時点において変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,346	10,100
受取手形、売掛金及び契約資産	2,957	3,209
商品及び製品	2,617	2,990
仕掛品	25	37
原材料及び貯蔵品	1,218	1,278
その他	665	430
貸倒引当金	△63	△85
流動資産合計	17,768	17,961
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,582	2,168
機械装置及び運搬具（純額）	34	40
工具、器具及び備品（純額）	128	123
土地	1,570	3,046
リース資産（純額）	117	98
有形固定資産合計	3,435	5,476
無形固定資産		
その他	151	150
無形固定資産合計	151	150
投資その他の資産		
投資有価証券	5,223	3,863
差入保証金	43	38
退職給付に係る資産	336	346
繰延税金資産	356	384
その他	3	3
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	5,962	4,634
固定資産合計	9,548	10,261
資産合計	27,316	28,222

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	840	928
電子記録債務	822	955
未払金	364	336
未払法人税等	181	330
賞与引当金	198	182
製品保証引当金	109	106
その他	1,075	1,250
流動負債合計	3,592	4,089
固定負債		
繰延税金負債	227	235
退職給付に係る負債	874	872
役員退職慰労引当金	6	7
その他	208	182
固定負債合計	1,317	1,297
負債合計	4,909	5,387
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,199	10,199
資本剰余金	3,049	3,044
利益剰余金	10,788	10,845
自己株式	△1,282	△1,266
株主資本合計	22,755	22,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△174	△187
為替換算調整勘定	△1,124	△764
退職給付に係る調整累計額	123	137
その他の包括利益累計額合計	△1,175	△813
非支配株主持分	826	826
純資産合計	22,406	22,835
負債純資産合計	27,316	28,222

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	8,473	8,502
売上原価	5,267	5,118
売上総利益	3,206	3,384
販売費及び一般管理費	2,703	2,872
営業利益	503	511
営業外収益		
受取利息	23	41
受取配当金	0	0
助成金収入	10	—
持分法による投資利益	25	27
その他	4	8
営業外収益合計	64	78
営業外費用		
支払利息	1	3
為替差損	86	139
その他	0	0
営業外費用合計	88	143
経常利益	479	446
特別利益		
固定資産売却益	4	0
関係会社株式売却益	—	90
特別利益合計	4	90
特別損失		
固定資産廃棄損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	483	536
法人税等	106	225
四半期純利益	376	311
非支配株主に帰属する四半期純利益	47	48
親会社株主に帰属する四半期純利益	328	262

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	376	311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△100	△12
為替換算調整勘定	495	350
退職給付に係る調整額	21	14
持分法適用会社に対する持分相当額	26	10
その他の包括利益合計	442	363
四半期包括利益	819	674
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	771	624
非支配株主に係る四半期包括利益	47	49

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

持分法適用の範囲の重要な変更

当第2四半期連結会計期間より、株式会社セコニックについては、当社保有株式の全てを譲渡したため、持分法適用の範囲から除外しております。